

大問一

問一 a 家畜 b 脳 c 痛快 d 境地 e 開花

問二

自分「らしさ」を求める際、周囲から見た「らしさ」にとらわれ、本当の自分「らしさ」を見失ってしまう場合がある。そう考える筆者には、人間が勝手に書いた図鑑など気にせず自由に生えている雑草の姿が痛快で、うらやましく思えるから。

問三

苦手なことから逃げてよいが、苦手なことにも挑戦して自分の意外な適性を探り、最終的に勝ち負けにとらわれない唯一無二のポジションを見つければよい。

問四

X  
人間脳は複雑なことは嫌いで、物事の一面を見て判断しがちだが、人間は様々な面を持ち、単純ではないと  
言うこと。

Y  
何事も最初から苦手と決めつけず挑戦を繰り返すことで、得意なものがみつかること。

大問二

問一 a しょうね b 感謝 c 英知

問二 油

問三 スイートポテト ※出典ではガトーショコラ

問四

皆が感じている給食の味が薄いことを自分も軽く口にただけなのに、お互いに苦手だと感じる真紀ちゃんから真面目に反論されてしまったことで、衝撃を受け、あっけにとられ、真紀ちゃんの言葉が忘れられず、悲しかったから。

問五

親や先生は、人を嫌うべきでなくいいところを探すべきだと言うのに、真紀ちゃんとはどうしてもうまくいかず苦しんでいたが、馬が合わず相性が悪いただけだとミーヤンに言われ、良い悪いではなく、仕方のないことだ  
と思い、安心して気持ちが軽くなったから。

問六

はっきりと分からないがお互い苦手だった自分と真紀ちゃんの関係が、馬が合わない、と自分の心のなかで何  
回も繰り返すうちに、だんだんとはっきりとしてきて納得でき、少しずつ心が軽くなっていった。

## 問七

慣用句が作られるほど、生まれつきの相性は仕方ないものであり、苦手なクリストファーに腹を立てても無駄だとタロに言い聞かせることで、自分も真紀に腹を立てたときは、自分たちは犬猿の仲なのだから仕方ないとわりきり怒らないようにしようと自分自身を諭すため。